

2024年度
事業報告書
(2024.4 – 2025.3)

(公財)都市活力研究所

目次

事業の状況

【公益事業1】 産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業…………… 1

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会(相談、助言)

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業(講座、セミナー、育成)

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座(講座、セミナー、育成)

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー
(講座、セミナー、育成)

C. バイオメディカル研究会(講座、セミナー、育成)

D. バイオコミュニティ関西セミナー(講座、セミナー、育成)

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー(講座、セミナー、育成)

F. 大阪大学「TRACS」(講座、セミナー、育成)

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナー(講座、セミナー、育成)

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際イノベーション会議「Hack Osaka」
(講座、セミナー、育成)(相談、助言)(表彰、コンクール)

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成

(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)

(2) 大学発シーズマッチングによる産学共創の推進

(講座、セミナー、育成)(相談、助言)

(3) 大学発シーズ・スタートアップの表彰(表彰・コンクール)

(4) 産学融合拠点のあり方の研究(調査、資料収集)

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業……………14

1. 新しいまちづくり等のあり方に関する調査研究

- (1) UIIまちづくり研究会(調査、資料収集)
- (2) まちづくりに関するセミナーの開催(講座、セミナー、育成)
- (3) UIIまちづくりレターの配信(調査、資料収集)

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

- (1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究(調査、資料収集)

3. エリアマネジメントに関する調査研究

- (1) エリアマネジメントに関する調査・研究(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)
- (2) エリアMICEの推進に関する調査・研究(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための
補助的事业……………20

1. 創業関連プロジェクトの推進支援

- (1) (特非)バイオグリッドセンター関西の運営支援
- (2) (一社)日本マイクロバイームコンソーシアムの運営支援
- (3) バイオコミュニティ関西(BiocK)の運営支援
- (4) 次世代モダリティ研究所の運営支援

2. エリアマネジメント活動の支援

- (1) 梅田地区における案内所業務への支援
- (2) エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

3. (公社)都市住宅学会関西支部の運営支援

4. 大学技術シーズを活用したゼブラエコシステムの形成

5. 産学連携シェアオフィスの運営

【法人管理】公益法人としての適正な運営……………24

附属明細書……………25

事業の状況

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

ライフサイエンス分野において、大学等での有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援、創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための事業推進、技術経営プログラムの提供、さらに国際的な事業連携の課題等の調査を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会(相談、助言)

創薬シーズを保有し事業化への意欲を持つ大学等の研究者からの相談に対し、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者が相談委員(18社23名)となり、研究開発の方向性について助言を行う。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨々年度に引き続きオンライン開催とし、今年度は3回開催した。

大学から創薬シーズを収集するための広報活動は、医療系産学連携ネットワーク協議会(medU-net)の協力を得るとともに、当法人で実施したセミナー参加者にもメール発信した。

日程	シーズタイトル	シーズ相談者
9/5	急性腎障害に対する創薬研究	新潟大学大学院医歯学総合研究科
12/19	FABPリガンドを用いた世界初のレビー小体病根本治療薬の開発	福島県立医科大学
3/11	SARM1阻害による神経保護剤	国立精神・神経医療研究センター(NCNP)

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業(講座、セミナー、育成)

＜実績なし＞

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座(講座、セミナー、育成)

「ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾 2024」

本講座はライフサイエンス分野において、事業開拓や起業に関心を持つ大学院生、大学・研究機関研究者、起業家を目指す若手研究者や企業の事業開発担当者を対象とした人材育成を目的とする実践講座であり、2024年で13年目となる。毎月1回で6月から翌年1月までの8日間の講座を実施し、選抜された社会人6名が受講した。1月の最終回には過去の受講生を招き、懇親会では同窓生と受講生との交流の場となった。

日程	タイトル	講師
第1日 6/22	「人と組織を動かすプレゼンテーションの極意」	株式会社SmartPresen 代表取締役 新名 史典
	「デザイン思考入門」	神戸大学大学院医学研究科医療創成工学専攻 神戸大学バリュースクール 特命教授 祇園 景子
第2日 7/20	「創薬財活用今昔物語～大手製薬からスタートアップ、平成～令和の変遷～」	メタジェンセラピューティクス株式会社 取締役CSO 一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム運営委員長 寺内 淳
	「ライフサイエンスに関わる知財活用」	弁護士法人 山本特許法律事務所 代表 弁護士・弁理士 山本 健策
第3日 8/24	「アカデミア発バイオベンチャーのつくりかた」	京都大学イノベーションキャピタル株式会社 投資第一部長／京都大学 成長戦略本部 エコシステム構築領域 副統括 八木 信宏
	「バイオテック・スタートアップのファイナンス」	合同会社SARR 代表執行社員 松田 一敬
第4日 9/21	「神戸医療産業都市の紹介」	神戸市 企画調整局 医療産業都市部 調査課 担当係長 松下 明生
	「株式会社シンプロジェンの事業紹介」	株式会社シンプロジェン 取締役 医療ビジネスユニット長 齋藤 俊介
	「株式会社ナティアスの紹介」	株式会社ナティアス 代表取締役 片岡 正典
	＜神戸医療産業都市 クリエイティブラボ神戸（CLIK）内部見学会＞	
第5日 10/19	「製薬産業におけるオープンイノベーション」	塩野義製薬株式会社 事業開発部 有岡 伸悟
	「AI / スパコンがもたらす創薬のゲームチェンジ」	一般社団法人ライフインテリジェンスコンソーシアム 事務局長 公益財団法人都市活力研究所 主席研究員 志水 隆一
	「ベンチャースピリットとイノベーション」	株式会社創晶 代表取締役社長 株式会社dotAqua 代表取締役社長 安達 宏昭
第6日 11/16	「京都リサーチパークの活動紹介」	京都リサーチパーク株式会社 イノベーションデザイン部長 田 和良
	「KSIIの活動紹介」	関西イノベーションイニシアティブ エリアコーディネーター Photo Soni Life Technology 代表取締役 DENSE 代表取締役 若松 知哉
	「経営企業の紹介 (Photo Soni Life Technology／DENSE)」	
	＜京都リサーチパーク 内部見学会＞	
第7日 12/21	「リーダーシップの本質と実践」	Eurus Therapeutics 株式会社 代表取締役 CEO FORESIGHT & LINX 株式会社 代表取締役 社長 能見 貴人
	「デジタルセラピューティクス(DTx)開発と事業化」	株式会社 asken 医療事業部 部長 松尾 恵太郎

	「医療機器開発の現状と課題」	神戸大学 大学院医学研究科医療創成工学専攻 特命教授 未来医工学研究開発センター / 医学部附属病院 医工探索創 成センター 保多 隆裕
第8日 1/18	「事業化を目指す研究者のための特許 と契約」	国立循環器病研究センター 産学連携本部長 浅野滋啓
	<同窓会>	

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー（講座、セミナー、育成）

今年度で11期目となる本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を先導する関西の研究者を招き、最新情報の提供及び参加者同士の交流の場を提供することを目的としている。主催は当法人と近畿バイオインダストリー振興会議、後援は関西医薬品協会、バイオコミュニティ関西等の関西の諸団体の協力を得て継続している。今期は全てオンラインで開催した。

日程	タイトル	講師	参加者
第40回 7/2	「データ駆動的な患者層別化と創薬標的探索に向けたAI 開発」	医薬基盤・健康・栄養研究所 AI 健康・医薬研究センター センター長代行 バイオインフォマティクスプロジェクト PL 夏目 やよい	125名
	「生体イメージングによる難治性疾患の病態理解と創薬への応用」	神戸大学 大学院医学研究科 未来医学講座 免疫学分野 教授 菊田 順一	
第41回 9/4	「生物発光が持つ多様な応用展開 -生理活性物質の探索から農薬検出まで-」	産業技術総合研究所 生命工学領域 首席研究員 近江谷 克裕	73名
	「ゲノム編集スクリーニングを用いたがんの新しい病態理解と治療応用」	大阪大学大学院医学系研究科・生命機能研究科(兼任)がん病理学 教授 井上 大地	
第42回 12/17	「オルガノイドを用いた肝疾患治療」	大阪大学 大学院医学系研究科 教授／ヒューマン・メタベース疾患研究拠点 副拠点長 武部 貴則	114名
	「腸内細菌と宿主の糖代謝関連」	京都大学大学院生命科学研究科・教授 木村 郁夫	
第43回 3/3	「代謝経路を測量してバイオものづくりに活用する」	大阪大学 大学院 情報科学研究科 教授 松田 史生	106名
	「腸内細菌叢のメタゲノム解析を基盤とした新規治療法の開発」	大阪公立大学大学院医学研究科ゲノム免疫学 教授 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターメタゲノム医学分野 特任教授 植松 智	

C. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

本研究会は、日本バイオインフォマティクス学会が生命科学分野の人材育成により健康分野の産業発展を通じて人々の健康増進に寄与することを目的として開催し、創薬・臨床応用を見据えた最先端研究をテーマに参加者に知的交流の場を提供している。当法人は同会の趣旨に賛同し、2010年度より事務局を担い企画や運営を協力している。

今年度は「デジタルで作る未来医療」をテーマとして、デジタルツイン技術をはじめとする最新テクノロジーの医療応用から創薬への展開、またそれらの技術の社会実装を見据えた仕組みづくりなど幅広い議論を実施した。

日程	タイトル	講師	参加者
第36回 3/4	「Nakanoshima Crossが目指す未来医療 イノベーションエコシステムの姿」	MIRACLE SCIENCE INNOVATION株式会社 宮川 潤	73名
	「心臓血管バイオデジタルツインを利用した、画期的な心疾患自動治療システムの実臨床応用を目指した研究開発」	国立循環器病研究センター・研究所・バイオデジタルツイン研究部 上村 和紀	
	「進化分子工学と大規模言語モデルを活用した抗体創薬」	株式会社MOLCURE 玉木 聡志	
	「対話型AIを用いたプラスミドベクター設計の自動化」	大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 森 秀人	

D. バイオコミュニティ関西セミナー（講座、セミナー、育成）

バイオコミュニティ関西(BiocK)は、内閣府の「バイオエコノミー戦略」の普及啓発のためのセミナーを開催している。今期はBiocKが企画運営を担い全国8つの内閣府認定のバイオコミュニティで組成したBioeconomy Hub Japan 組織委員会の主催で、2025年4月に開催する国際シンポジウムのプレイベントとしてシンポジウムを開催した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
4/19	Bioeconomy Hub Japan 2024 プラネタリーヘルス ～バイオによるイノベーションがプラネタリーヘルスをどう実現するか～	主催: Bioeconomy Hub Japan 組織委員会 後援: 公社)2025年日本国際博覧会協会	110名

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

その他事業として事務局業務を担っているモダリティ研究所との共催により下記のセミナーを開催した。

主催: NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所
関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン）
共催: 当法人

日程	タイトル	参加者 *: オンライン
----	------	-----------------

第10回 5/24	第10回次世代モダリティセミナー ～微生物創薬の現状と将来～	737名 *692名
第11回 8/30	第11回次世代モダリティセミナー ～新規DDSとしてのLNP～ (台風の影響により現地開催なし)	*975名
第12回 11/19	第12回次世代モダリティセミナー ～核酸医薬品創出のために必要なこと～	996名 *942名
第13回 2/14	第13回次世代モダリティセミナー ～国内大手製薬企業の新規モダリティ戦略～	1,247人 *1,176人

F. 大阪大学「TRACS」(講座、セミナー、育成)

社会課題解決に資する医療機器等のスタートアップ経営者候補生を育成するアントレプレナープログラムを2024年9月～2025年3月の半年間の講座として実施した。実施主体は大阪大学フォトニクス生命工学研究開発拠点、大阪大学医学部附属病院未来医療センターの共催とし、都市活力研究所はJSTの委託を受けて事務局として関わった。

本講座のうち11月～12月に実施の7回の講義については、弊財団の主催で「医療機器開発において経営者として最低限知っておくべき専門知識講座」としてTRACS受講生以外の一般受講も可能なオンライン連続講座として開催した。

日程	タイトル	講師	受講者数
11/12	知的財産	大阪大学大学院医学系研究科メディカル・ヘルスケア知財戦略室 室長 共創機構 イノベーション戦略部門 知的財産室(医学系分室担当) 特任教授 高岡 裕美	30名 うち一般15名
11/19	薬事規制	大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部未来医療センター 特任准教授 渡利 彰浩	
11/26	診療報酬	大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部未来医療センター 特任准教授 福田 恵子	
12/3	ビジネス モデル	株式会社BDスプリントパートナーズ 代表取締役 一橋大学大学院経営管理研究科 客員教授 秦 充洋	
12/10	QMS	株式会社xCARE(クロスケア) 事業部長 Vice President 医療機器開発支援スペシャリスト 阿部 里恵	
12/17	事業計画 等	株式会社アイキャット 代表取締役 CEO 大阪大学歯学研究科招聘 教員 西願 雅也	
12/24	資金調達	MedVenture Partners 代表取締役社長 大下 創	

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

起業家や起業支援者が集まり、新事業がふ化する魅力ある環境の形成を通じて、大阪の産業の振興を図る。

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナー(講座、セミナー、育成)(表彰、コンクール)

Hack Osaka(2.(2)に記載)内サブ会場において、テック系人材とスタートアップを結びつけることを目的としたイベント「Tech Award in Hack Osaka 2024」を開催した。

【主催】公益財団法人都市活力研究所、公益財団法人大阪産業局(OIH/TEQS)

【共催】株式会社Progate、GONENGO LLC

【参加者数】リアル26名(Hack参加者の内数)、オンライン78名

11:30～	TECHコミュニティLT(3分×5組)
12:00～	審査員トークセッション ～スタートアップのエンジニア不足を解消するための提言～
13:00～	Tech Award -Final Judgement-(最終審査会) 登壇14社
15:00～	Tech Award -Ceremony-(贈呈式) ハッカソン部門 学生コミュニティ部門 一般コミュニティ部門 関西本社企業部門
16:00～	クロージング

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際イノベーション会議「Hack Osaka」

(講座、セミナー、育成)(相談、助言)(表彰、コンクール)

大阪・関西における起業マインドを醸成し、地域起業支援コミュニティを活性化するため、海外のイノベーションへの取組みの先進的事例を紹介するとともに、国内外の起業家を対象としたビジネスプランコンテストや交流促進のためのイベント等の企画・運営を行った。

【開催日】2024年11月26日(火)

【会場】ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

【主催】国際イノベーション会議Hack Osaka実行委員会(大阪市、大阪産業局、日本貿易振興機構、当法人)

【参加者数】リアル1024名、オンライン159名

【メイン会場プログラム】

10:30～	Opening Act(MC)
10:35～	NVIDIAスタートアップ支援の取り組み紹介とトークセッション 【松本 美咲】Head of Startup and VC Partnership / NVIDIA 【矢野 貴文】代表取締役社長 / 株式会社RUTILEA 【岡田 侑貴】代表取締役CEO / 株式会社データグリッド
11:25～	国際都市化を自分事に！グローバルマインドの醸成 ～学生時代の海外経験とアントレプレナーシップ教育の観点から～ 【福田 若菜】代表理事 / 特定非営利活動法人BizWorld Japan 【小磯 純奈】代表取締役CEO / ニューオンド 【野口 寛士】代表取締役 / orosy株式会社

12:00～	Go global!! ～海外フィンテックの成長戦略の実例から～ 【Jung Seok Kang】CEO / AIZEN 【加藤 基リン】プリンシパル / Global Brain 【高尾 知達】常務理事 / 一般社団法人Fintech協会
12:50～	日本発スタートアップによるグローバルへの挑戦 ～LVMH Innovation Award 2024を事例として～ 【Thomas PRUNEL】IT Digital Director / LVMH Japan G.K. 【忍岡 真理恵】COO / HERALBONY Co., Ltd. 【木下 貴博】Executive President / JIKAN TECHNO Inc. 【後藤 能文】貿易担当官 / Business France
13:55～	ユニコーン企業から学ぶ、海外市場での成長のコツ ・事前映像収録 【横山 英幸(事前収録映像)】市長 / 大阪市 【Buzz Palmer(事前収録映像)】CEO / MedTech Actuator 【Vishaal Kishore(事前収録映像)】CSO / MedTech Actuator ・登壇 【Matthew Frith】COO / MedTech Actuator 【Nick Opie】Founding Director / Synchron, Inc
14:55～	海外スタートアップピッチ DataMesh Forsea Foods Grapheal Lalamove Patsnap Your Arbor
16:00～	東南アジアと中国におけるAI発展のトレンド 【Robyn Tan】Partner / 36Kr Global
17:00～	国内スタートアップピッチ”GET IN THE RING OSAKA 2024 -AI Revolution-“
18:10～	クロージング

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

大学と産業界が一体となりシーズや人材の育成を図るための事業を推進し産業の振興を図ることを目的として、「関西イノベーションイニシアティブ(KSII: Kansai Innovation Initiative)」を運営している。

本事業は2020年9月に経済産業省の「産学融合先導モデル拠点プログラム(J-NEXUS)」に採択され、当法人が代表幹事機関を務めている。今年度も未参画の大学への参画打診を行い、2025年3月末時点で17大学から31大学へと事業開始時比約1.7倍に増加した。また、各大学へのヒアリング等による課題抽出や、大学発スタートアップと産業界の接点拡充も継続して行っている。2024年度は補助事業の最終年度であり、本事業の自立自走化に向けた検討・体制構築を進めた。

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成

(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)

- データ利活用やってみよう!ハッカソン

「データ利活用によるスマート社会の実現(PDA: データ駆動型アプリ工房)」では2022年より引き続き、都市データ利活用の一層の促進に向けて、データ活用アプリケーション人材の育成を目標とした活動を行っている。今年度も「京橋」をコアサイトと位置づけ、「神戸」「なかもず」の2拠点をサテライトとして開催した。前回参加者が今年度の活動の中心になる等、着実にコミュニティ・エコシステムが形成されている。また、今年度から新たな取組として立命館中学の課外授業「サタデーボックス」とも連携し、出前授業と称して若年層のアプリネイティブ人材育成も行った。

【主催】大阪公立大学

【共催】関西イノベーションイニシアティブ、
大阪スマートシティパートナーズフォーラム(OSPF)、
(一社)コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会(CSPFC)

<京橋コアサイト:QUINTBRIDGE>

日時	イベント内容	参加者
10/12	キックオフ	93名
10/19	ハンズオン	27名
11/9	中間発表会	17名
12/7	成果発表会	60名

<なかもずサテライト:さかい新事業創造センターS-Cube>

日時	イベント内容	参加者
8/23	ハンズオン1	26名
8/30	ハンズオン2	17名
9/6	アイデア/チーム分け	20名
9/27	中間発表会	16名
10/11	成果発表会	16名

<神戸サテライト:ANCHOR KOBE>

日時	イベント内容	参加者
5/10	キックオフ	29名
6/17	ハンズオン	20名
7/29	ハンズオン	8名
9/30	ハンズオン	11名
11/1	中間発表会	6名
12/2	成果発表会	12名

<立命館中学サタデーボックス:立命館中学(長岡京市)>

日時	イベント内容	参加者
5/11	キックオフ	13名
6/15	ハンズオン	11名
6/22	ハンズオン	6名
7/13	ハンズオン	4名
10/5	ハンズオン	5名
11/2	ハンズオン	5名
11/16	ハンズオン	2名
12/14	ハンズオン	2名

● その他人材育成セミナー・シンポジウム

日/程	タイトル	主催者等	参加者
4/20	【初級プログラミング講座】 Webページ制作ミニハッカ ソン	主催: Innovators' Club(大阪大学共創機構 イノベ ーション戦略部門 人材育成室) 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	25名
4/21	Umekita Pot“再生医療 ×U30で創る2050年の社 会とは?”	主催: 一般社団法人うめきた未来イノベーション機構(U-FINO)、一般社団法人Re-Generation 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	26名
7/7	Umekita Pot. “次世代リー ダーに求められる「想い」 の伝え方とは?”	主催: 一般社団法人うめきた未来イノベーション機構、 一般社団法人Re-Generation 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	15名
8/9	i-Salon ～スタートアップ 経営者によるトークショー ～	主催: Innovators' Club(大阪大学共創機構 イノベ ーション戦略部門 人材育成室) 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	30名
3/5	HAZAITHON2024	主催: 大阪大学共創機構 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	8名

(2) 大学発シーズマッチングによる産学共創の推進

(講座、セミナー、育成)(相談、助言)

アカデミアと産業界の間のギャップの解消、およびシーズ・ニーズのマッチング機会の創出拡大を目指し、産業界とのパイプの一層の強化(経済団体・業界団体およびその会員企業との結びつき強化を図るマッチングイベント等)や、大学発スタートアップ企業のプロモーション機会の創出に取り組んだ。特に今年度は大企業との接点拡充に努めるべく、個別企業とのセミクローズドなマッチングイベントなどを企画、開催した。

● マッチングイベント

* :オンライン

日程	タイトル	主催者等	参加者
4/24	産学融合ミートアップ DEEPTech CAMPUS#3	主催: 関西イノベーションイニシアティブ、うめきた未来イノベーション機構	70名
5/29	京阪神 三都X(cross)	主催: 関西イノベーションイニシアティブ、大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム	140名
6/18	産学融合ミートアップ DEEPTech CAMPUS#4	主催: 関西イノベーションイニシアティブ、うめきた未来イノベーション機構	80名
7/9	HVC KYOTO 2024	主催: 京都市、独立行政法人日本貿易振興機構、京都府、京都リサーチパーク株式会社 共催: 関西イノベーションイニシアティブ、京都大学成長戦略本部、京都大学イノベーションキャピタル株式会社	220名
7/30	第4回大学発スタートアップサポーターズミーティング	主催: 関西経済連合会、関西イノベーションイニシアティブ	20名
8/20	産学融合ミートアップ DEEPTech CAMPUS#5	主催: 関西イノベーションイニシアティブ、うめきた未来イノベーション機構	60名
9/4	BusinessMeetup * Ideation w/4Startups(積水化学 ×Inspired lab×KSII)	主催: 積水化学工業 共催: Inspired Lab、関西イノベーションイニシアティブ	45名
9/19	第2回政府系支援機関スタートアップ支援施策説明及び個別相談会 ~大学産学連携担当者向け~	主催: 関西・共創の森 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	46名
10/2	DXオープンイノベーションフォーラム2024	主催: 関西経済連合会 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	72名
10/4	オープンイノベーション交流会	主催: 池田泉州銀行 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	51名
10/16	京都大学 次世代研究者 産学連携ネットワークイベント「BX桂」	主催: 京都大学 学術研究展開センター/工学研究科 共催: 関西イノベーションイニシアティブ	42名 * 99名

10/31 -11/1	Challenge万博2024	主催:三井住友銀行、関西イノベーションイニシアティブ	580名
12/10	産学融合ミートアップ DEEPTech CAMPUS#6	主催:関西イノベーションイニシアティブ、うめきた未来 イノベーション機構	45名
1/10	第2回 京阪神 三都X(cross)	主催:関西イノベーションイニシアティブ、大阪・京都・ ひょうご神戸コンソーシアム	139名
1/14	宇宙への挑戦!! スタートアップと 研究者が語る未来	主催:公益財団法人京都高度技術研究所(ASTEM) 共催:関西イノベーションイニシアティブ	47名 * 49名
1/29	都市農業シンポジウム「都市の 緑のあり方と農 ～人と空間の 新たな関係～」	主催:大阪公立大学 共催:関西イノベーションイニシアティブ	52名 * 92名
2/14	持続可能な農業イノベーション への挑戦 ～生産性とサステナ ビリティの両立を目指す大学発 研究/事業シーズの社会実装へ ～	主催:京大オリジナル株式会社、関西イノベーションイ ニシアティブ	52名 * 277 名
2/21	京都大学次世代研究者産学連 携ネットワークイベント: Resilience桂	主催:京都大学 大学院工学研究科、京都大学 総合研 究推進本部 共催:関西イノベーションイニシアティブ	51名 * 83名
3/11	第3回 政府系支援機関スタート アップ支援施策説明会	主催:関西・共創の森 共催:関西イノベーションイニシアティブ	54名

● 伴走支援プログラム「STAND BY YOU 2024」

今年度から新たに取り組む本事業では、大学発スタートアップの成長支援を目的とした新たな伴走支援プログラムとして、特に、大学発スタートアップが保有する価値やストーリーを整理して、様々なステークホルダーとの関係構築の一助となるようにPRに関するサポートを提供する。採択にあたっては、3名の外部委員に審査員に採点いただき、3社を採択した。採択企業の技術やサービスの社会受容性を向上させることで、事業者間連携や産学融合の実現に繋げるべく取り組んだ。

実施日時	内 容
6月～7月15日	エントリー受付
7月16日～8月末	審査・採択企業決定、支援内容検討 ＜採択企業＞ ・エニシア株式会社 ・ジヨイ・クル株式会社 ・株式会社Space Power Technologies
9月～12月	採択企業への重点支援(ファクトブック制作等)
1月～2月	ファクトブックの活用(マッチング支援等)

(3) 大学発シーズ・スタートアップの表彰(表彰・コンクール)

KSIIゼブラ創出等に向けた大学発スタートアップの活性化、裾野拡大等のため「U-START UP KANSAI」や「KSIIゼブラ認定セレモニー」等を実施した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
9/12	大学発スタートアップ事業展開支援プログラム「U-STARTUP KANSAI 2024」	主催:大阪商工会議所、関西イノベーションイニシアティブ	200名
9/13	SDGs未来ビジネス学生コンテスト2024	主催:ひょうごSDGsオープンイノベーション 共催:関西イノベーションイニシアティブ	150名
11/29	KSIIゼブラ認定セレモニー2024	主催:関西イノベーションイニシアティブ	180名

(4) 産学融合拠点のあり方の研究(調査、資料収集)

産学融合のネットワークハブとなるような物理的な拠点について、その求められる機能や仕組みについて調査・検討しつつ、一部の機能については先行してトライアル実装を行う。

- 技術シーズデータベース

企業や起業家が、大学発の技術シーズを一括して閲覧・検索することが可能となることで、技術シーズ情報の活用促進を図るため、昨年度から参画大学の技術シーズ情報を登録して技術シーズデータベースを作成しており、今年度も参画大学に対してデータ提供を依頼し、データベースの充実を図っている。

- 大学発スタートアップ集

関西域での大学発スタートアップの見える化を図り、産業界・金融・VC等へのKSIIからの発信および各方面からのスタートアップに対する協業・支援機会を創出する。より多くの方々に見てもらうため、また、常に最新情報を提供するため、電子媒体と紙媒体の双方を提供している。随時掲載スタートアップの情報更新をしており、現在110社を掲載中である。今後も定期的な掲載案内により掲載数を増やしていく。

- 大学発スタートアップ実態調査

本調査は、大学発ベンチャー経営者へのアンケート(148社へ送付)・インタビューを通して、ベンチャー企業がどのようなことで躓くのかを明らかにし、ベンチャー企業支援のあるべき姿を探ることを目的として実施。この取り組みを通じて獲得した知見をもとに、汎用的な伴走支援プログラムの構築を目指す。

実施日時	内 容
9月	アンケート発送
11月	アンケート結果の解析
12月	個別企業へのインタビュー実施

2月	アンケートおよびインタビュー調査の結果をもとにしたレポートの作成
----	----------------------------------

- 大学連携の促進

KSII参画大学間の連携により、共通の課題解決や1大学では実施できない活動等を促進するため、一つのグルーピングとして私立大学に着目し、私立大学の連絡会を開催した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
7/5	第6回 関西私立大学 産官学金・連携推進連絡会	主催：株式会社三井住友銀行、関西イノベーションイニシアティブ	38名
3/11	第7回 関西私立大学 産官学金・連携推進連絡会	主催：株式会社三井住友銀行、関西イノベーションイニシアティブ	33名

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 新しいまちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、新しいムーブメントの醸成に寄与する。

(1) UIIまちづくり研究会(調査、資料収集)

大阪都心部の活性化に向けて、これからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行っている。

今年度は、下記の研究を実施しており、テーマは次の通りである。

○(継続テーマ)サステナブルなまちづくりに関する調査研究

産学官から、大阪都心及びその近郊の中長期的なあり方を考えるうえで鍵を握るメンバーを招聘し、議論・情報交換の場を設けている。そのなかで、まちづくりの最新動向に関する話題の提供を行い、サステナブルなまちづくりのための課題を抽出し、解決の方向性を見出す活動を2021年6月から開催している。

今年度上期は、2021年6月から開催している研究会の最終回(第13回)を4月に実施した。その後、今年度の新規研究会企画について関係者との議論、意見交換等を踏まえて、下期に多様な分野の注目すべき若手学識経験者等の講演を24年度版「サステナブルなまちづくりに関する研究会」として企画した。学識経験者、公共団体等の中堅層、経済界などへの研究会参加の依頼を行い、9月に第1回研究会を開催した(研究会メンバー18名)。

9月以降、隔月で若手学識等の講演と10月以降隔月で自由参加企画を実施した。3月までの情報共有や情報交換等の実施内容や学識関係者、出席者の状況、阪急阪神不動産等との意見交換を踏まえて、25年3月に「サステナブルなまちづくりに関する研究会」を終了した。

なお、24年度中に阪急阪神不動産や学識関係者等と新規企画について議論、検討を行い、これまでの情報共有や情報交換の場(研究会)ではなく、まちづくりの課題抽出や解決策を議論するための検討会を立ち上げ予定としている。

日程	タイトル	講師
4/24 (水)	サステナブルなまちづくりに関する研究会 第13回(3年間の研究会の最終回)	大阪大学大学院工学研究科 /教授/土井 健司氏 立命館大学 理工学部 /教授 /岡井 有佳氏 大阪大学大学院工学研究科 /助教 /葉 健人氏
9/24 (火)	2024年度/第1回サステナブル研究会 「まちの再生を考える 文脈をつなぐ建築と都市のリノベーション」	近畿大学 建築学部建築学科 教授/宮部 浩幸氏
10/15 (火)	十三界限(ジオタワー大阪十三・マンションギャラリーなど)視察会	マンションギャラリー視察、 総合調査設計株式会社/代表取締役 社長 笹井 浩氏による十三地区視察など。
11/25 (月)	2024年度/第2回サステナブルなまちづくりに関する研究会 「持続可能な地域、経済のあり方に着目して」	大阪公立大学商学部/経営学研究科 教授/松永 桂子氏

12/18 (水)	2024年度/第3回サステナブルなまちづくりに関する研究会 「都心フリンジエリアにおける都市再生戦略とは？ー クリエイティブ・エリア・マネジメント の可能性 」	京都大学大学院地球環境学堂 /准教授/山口 敬太 氏
	国土・未来プロジェクト研究会の活動	JAPIC/駅まちWGリーダー/乾 靖 氏
	都心フリンジのSpeculative Design 中央復建コンサルタンツ(株) /代表取締役社長/白水 靖郎 氏	中央復建コンサルタンツ(株) /代表取締役社長/白水 靖郎 氏
1/15 (水)	サステナブルなまちづくりに関する研究会/自由参加企画(第2回) 「2050年のリジェネラティブな都市と公共空間の展望」	日建設計総合研究所 執行役員/小川 貴裕 氏
3/14 (金)	2024年度/第4回サステナブルなまちづくりに関する研究会 「これからのまちづくりの視座～Beyond the Third」	関西大学環境都市工学部建築学科 教授/木下 光 氏
3/24 (月)	2024年度/最終回サステナブルなまちづくりに関する研究会 「岡井先生、葉先生からの話題提供(お題) & ディスカッション」	立命館大学 理工学部/ 教授/岡井有佳 氏 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 助教/葉 健人 氏

○国土交通省関連団体との活動連携

国土交通省都市局の関連団体である一般財団法人都市みらい推進機構と都市活力研究所とは2015年度より、研究発表会の共催、後援等で緊密に連携している。また、同機構が事務局を運営しているアーバンインフラ・テクノロジー推進会議(以下「UIT」)には当財団が特別会員としても緊密に連携している。

今年度は2024年11月にUITが東京で主催する「第36回技術研究発表会」等を後援すると共に、2025年2月に大阪で発表会を共同開催するなど、連携を強化している。

国土交通省からは都市活力研究所や阪急阪神不動産、阪急電鉄等との定期的な意見交換等も要請されており、25年度以降も引き続き、連携を強化していく。

※会場: NORIBA10 umeda

参加者: 63名(建設関係、自治体、大学等研究機関など幅広い分野からの参加)

日程	タイトル	講師
2/19 (水)	「都市づくりについての技術研究発表と講演会」	論文発表3件 (第36回技術研究発表会 優秀賞受賞論文)
	「都市行政の最近の話題」	国土交通省 都市局街路交通施設課 街路交通施設企画室長/福元 正武 氏

	「ウォーカブルな都市づくり 海外都市と大阪の取り組み」	大阪公立大学 大学院工学研究科 都市系専攻 教授/嘉名 光市 氏
--	-----------------------------	----------------------------------

○コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見(24年度上期で終了)

従来の発想にとらわれない新しい視点での地域文化資源を定義・抽出・編集することにより、大阪の「キタ」エリアの魅力を語るストーリーを導き出すとともに、まちを使いこなす人材を育成することを目的に、2018年7月から24年3月まで「キタ再発見の会」を開催した。リアルとオンラインにて実施した。2024年7月に、これまでの取組の集大成として冊子1000部を作成し、(一社)うめらく等、関係団体、大阪市等に配布し、活動を終了した。

※コーディネーター (一社)うめらく 代表 山田摩利子

(2) まちづくりに関するセミナーの開催(講座、セミナー、育成)

● **UIIまちづくりフォーラム**

<実績なし>

● **UIIまちづくりDX講座**

まちづくり関係業務に携わる業界関係者に対し、今後のスマートシティ等の議論に対応するために、まちづくりアプリ作成等の実践型のセミナーを実施することで「まちづくり×DX」について考える機会の提供とコミュニティの形成を目指す連続講座を23年度に開催し、参加者から好評を得ている。23年度に続き24年度も開催することとなった。(参加者17名)なお、25年度も継続開催する予定。

開催日	タイトル	講師
6/8(土)	Google Sitesを使って、防災ポータルサイトを作ってみよう	GONENGO LLC Founder/CEO Xin Suzuki 氏
7/6(土)	FlutterFlowを使って、オンライン掲示板を作ってみよう	takeforest株式会社 代表取締役 竹森洸征 氏
8/3(土)	オープンデータを使って、オリジナルマップを作ってみよう	takeforest株式会社 代表取締役 竹森洸征 氏
9/5(土)	Cesiumを使って、3D都市モデルを触ってみよう	大阪駆動開発 Co-Founder 山地直彰 氏
10/5(土)	Unreal Engineのアセットを使って、都市計画を3D都市モデルでシミュレーションしてみよう	大阪駆動開発 Co-Founder 山地 直彰 氏
11/2(土)	LiDAR&フォトグラメトリ用アプリを使って、古の建築物をデジタルアーカイブしてみよう	大阪駆動開発 Co-Founder 山地 直彰 氏
12/7(土)	成果発表会	
1/11(土)	IFROとChatGPT APIを使って、観光案内チャットボットを作ってみよう	大西 優司 氏/朧黒 竜太 氏
2/1(土)	PythonとGoogle Colaboratoryを使って、オープンデータにAPIでアクセスしてみよう	大西 優司 氏/朧黒 竜太 氏
3/1(土)	Notionを操作して、人工知能用の良質なデータの形を理解しよう	大西 優司 氏/朧黒 竜太 氏

(3) UIIまちづくりレターの配信(調査、資料収集)

まちづくりに係わる様々な話題や動向を調査して、レター形式で情報を配信するもの。今年度上期は1回配信した。25年度以降については、まちづくりチームの活動状況を踏まえて再開を検討予定。

配信日	タイトル
6/5	第31回Ullまちづくりフォーラム 「サステナブルシティ実現に向けて」講演録(要約版)

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指し、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究(調査、資料収集)

● 「十三× JUSO CROSS」

分譲マンション「ジオタワー十三」開発など、十三地区のまちづくりが動き出す中で、今後の地域コミュニティ形成や地域文化、歴史等の発掘、発信等に向けた情報発信イベント「十三× JUSO CROSS」を昨年度に引き続き、2024年度も株式会社ウェルビーイング阪急阪神と緊密に連携して進めた。

なお、2025年度も2026年度のジオタワー十三の竣工に向けて、活動を継続、拡大していく予定。地元十三にお住まいの方の参加が特に多く、地元活性化に対する高い関心がうかがえる。キッズダンススクール、子ども食堂×コワーキングスペース運営者、十三の不動産経営者、内科クリニック経営者、まちづくりコンサルティング業、映画監督など

開催日	タイトル	講師
1/31 (金)	第1回十三未来会議 「十三のまちの変遷を読み解く」 会場: レッドカーペット 時間: 19:00～21:00 参加者: 67名	株式会社喜八洲総本舗/代表取締役/十三トミータウン商店会/会長 中田 八朗 氏 一般社団法人がもよんにぎわいプロジェクト代表理事/アールプレイ株式会社/代表取締役/和田 欣也 氏
2/8 (土)	第2回十三未来会議 「地域のブランディングの必要性和手法を学ぶ」 会場: レッドカーペット 時間: 14:00～16:00 参加者: 53名	株式会社商い創造研究所/代表取締役社長/株式会社賑わい創研/代表取締役社長/松本 大地 氏 株式会社コーミン 代表取締役/入江 智子 氏
2/21 (金)	第3回十三未来会議 「大きな開発の小さな関わりしろとは」 会場: レッドカーペット 時間: 19:00～21:00 参加者: 50名	京都大学大学院/地球環境学堂 准教授/山口 敬太 氏 みんなの図書館さいくる 館長/野末 奈穂 氏 阪急電鉄株式会社/都市交通事業本部/沿線まちづくり推進部 青島一政 氏

3/1 (土)	第4回十三未来会議 「キックオフ!ここから始める自分のやりたいこと」 会場:レッドカーペット 時間:19:00～21:00 参加者:38名	十三のインナーコンセプト決めるための ワークショップを開催 株式会社ウェルビーイング阪急阪神/ひ と・まち事業部/濱 侑里 氏 淀川界限エリアマネジメント 土井 智史氏
3/31 (月)	「十三未来会議/有識者編」 会場:都市活力研究所 時間:17:00～19:00 参加者:17名	神戸大学/大学院工学研究科建築学専 攻/教授/槻橋 修 氏 近畿大学/建築学部建築学科 准教授/寺川 政司 氏 京都市立芸術大学/美術学部 名誉教授/藤本 英子 氏 関西大学/総合情報学部 教授/徳山 美津恵 氏 関西大学/総合情報学部 教授/松下 光範 氏 京都大学/大学院地球環境学 准教授/山口 敬太 氏 大阪公立大学/大学院工学研究科 准教授/吉田 長裕 氏

●阪急電鉄との共同主催による自動運転バス等をテーマとしたセミナーの実施

第1回「地域の未来を考える公共交通セミナー」開催(2025年2月3日)

24年度下期に、阪急電鉄より共同主催の打診があり、都市活力研究所としても取組意義
が大きいことから、新規企画として第1回セミナーを実施した。

25年度も第2回～第4回を継続実施する予定。

開催日時:2/3(月)14:00～16:00

会場:ホテル阪急インターナショナル

講演:6階 瑞鳥

展示:1階 北側ロータリー内

参加者:44名

阪急電鉄・沿線全22自治体のうち16自治体から参加があった。

特に、池田市(5名)・神戸市(3名)は参加人数が多く、自動運転の取り組み意向の高さが
伺えた。

日程	タイトル	講師
2/3 (月)	沿線地域の未来を考える公共交通セミナー ～持続可能なまちづくりに向けて～ 「自動運転に向けた取り組みについて」	
	講演Ⅰ 「自動運転の実現に向けた取り組みにつて」	国土交通省 物流/自動車局 技術/環境政策課/自動運転戦略室長 /家邊 健吾 氏
	講演Ⅱ 「NTT西日本グループ自動運転EVバス事業の 取り組み紹介」*試乗会の件も記載	NTTビジネスソリューションズ株式会社 バリューデザイン部/自動運転担当 担当部長/宮崎 一氏

3. エリアマネジメントに関する調査研究

地域における良好な環境や価値を維持・向上させるための地権者を主体とした取り組みについて、梅田地区を例にとり調査研究を行う。

(1) エリアマネジメントに関する調査・研究(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)

＜実績なし＞

(2) エリア**MICE**の推進に関する調査・研究(講座、セミナー、育成)(調査、資料収集)

＜実績なし＞

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

大阪の地場産業である製薬業界の振興のため、非競争領域における創薬の基盤技術の普及や促進のための活動を支援する。現在は、コンピュータやヒト細菌叢（マイクロバイーム）の利用促進に関する活動を支援している。

(1) (特非) バイオグリッドセンター関西の運営支援

文部科学省ITプログラム「スーパーコンピュータネットワークの構築」(バイオグリッド・プロジェクト)として、2002年より2006年の5年間実施したプロジェクトを母体に、その研究成果の産業利用を目的に2004年に設立された。情報技術とバイオ、医療の融合分野における研究開発及び教育普及活動を行っている。

当法人は、2004年度設立時より事務局業務を受託していたが、今年度5/25の総会で解散を決議し、8/27精算結了が完了した。

○事務局運営

第21回総会（5月25日）並びにファイナル研究会を開催した。

タイトル	バイオグリッドファイナル研究会		
開催日	2024/5/25	参加	25名
主催：NPO法人バイオグリッドセンター関西、協力：当法人			
プログラム	13:30-13:40 理事長挨拶 NPO法人バイオグリッドセンター関西 理事長 下條真司 13:40-16:00 総合討論、交流会（都市活セミナールーム）		

(2) (一社) 日本マイクロバイームコンソーシアムの運営支援

本法人は製薬や食品業界を中心として2017年に設立された企業コンソーシアムで、今期で8期を終えた。(国研)日本医療研究開発機構から採択された6年間のプロジェクトは4年目を順調に終えた。これまでの成果発表として12月には当法人が共催しシンポジウムを開催、また、2月には健康博覧会にて講演およびブース出展を行った。

プロジェクト名	概要	委託元
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	腸内マイクロバイーム制御による次世代創薬技術の開発	日本医療研究開発機構 (AMED)

日程	タイトル	主催者等	参加者
12/12	産官学連携で拓くヒトマイクロバイームの未来」	主催：一般社団法人日本マイクロバイームコンソーシアム 共催：公益財団法人都市活力研究所	406名
2/26 ～28	健康博覧会 (講演、ブース出展)	主催：インフォーマ・マーケット・ジャパン	

(3) バイオコミュニティ関西(BiocK)の運営支援

本団体は、2021年7月、内閣府のバイオ戦略に基づき、バイオエコノミー社会の実現を目指して設立された。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を担い活動を支援している。内閣府認定のグローバルバイオコミュニティとして、各分科会活動の牽引、一般向けのセミナーの企画運営やWEBでの情報発信を行っている。

日程	概要	出席者
7/4	第7回委員会(Bioeconomy Hub Japan 2025についての意見交換)	内閣府、委員等 78名
8/29	第4回分科会会議(新分科会紹介、課題共有のラウンドテーブル等)	分科会メンバー等 54名
2/19	第8回委員会(Bioeconomy Hub Japan 2025状況、新任委員紹介他)	内閣府、委員等 60名

(4) 次世代モダリティ研究所の運営支援

低分子に代わる製薬の新しいモダリティ(様式)として、抗体、核酸、細胞治療などが注目を集めている。これらは従来の創薬手法ではないアプローチで必要で、化学メーカーなども非常に興味を持っている。新しいモダリティのあり方を、化学メーカー、製薬メーカー、バイオベンチャーなど巻き込んで技術課題やビジネスの在り方を研究するため、特定非営利活動法人情報計算化学生物学会(CBI学会)の傘下のCBI研究機構内に次世代モダリティ研究所を設立し、その事務局として運営支援を行っている。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方の方策を実践に移すため、主に都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援している。

(1) 梅田地区における案内所業務への支援

都心部における案内サービスのあり方を検討するとともに、各案内所で共通で利用できるツールの作成を通じて案内所業務への支援を2024年度は行った。

なお、本業務については阪急阪神不動産の支援業務として実施していたが、本年度で都市活力研究所の業務は終了することで阪急阪神不動産と合意している。

(2) エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市と市内エリアマネジメント11団体で構成する会議で、大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプランとガイドラインの策定を目指し、2016年度に発足した。

今年度いよいよ来年に迫る大阪関西万博を契機とし、大阪都心部における様々なエリアマネジメント活動について情報発信を行うためのホームページを作成した。(10/1公開)

また本会2回・部会4回を運営した。

日程	内容
6/30	第12回 合同部会
7/24	第17回 大阪エリアマネジメント活性化会議
9/27	第10回 安全・安心部会
10/4	第4回 万博部会

2025/2/5	第5回 万博部会
3/24	第18回 大阪エリアマネジメント活性化会議

3. (公社)都市住宅学会関西支部の運営支援

日本の都市住宅/居住学について、社会、経済、技術、文化等の横断的な領域にまたがる学際的な学会で、1992年に設立された。関西支部においては、公的住宅団地、子育て環境、超高層住宅のあり方や、鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりに関する調査研究を実施している。

当法人は、2015年より事務局業務を受託し、今年度は関西支部総会1回/常議員会5回のほか、関連セミナー1回、学生研究発表交流会の告知、運営等を支援した。

4. 大学技術シーズを活用したゼブラエコシステムの形成

公益事業1で実施する「関西イノベーションイニシアティブ(KSII)」事業を補完し相乗効果をあげるため、産業界や金融界の専門的有識者に対してマッチングさせる等、カスタマイズ型の支援を行うことで産学共創を加速度的に推進させる。

● NEDO「MPM事業」の業務受託

2024年度の国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の公募事業「大学発スタートアップにおける経営人材確保支援事業」(MPM)にKSIIを連携先とした株式会社みらいワークスの提案する事業案が採択された。当事業の実施にあたり、KSIIは参画大学の起業を志向するシーズや大学発スタートアップの経営人材ニーズを発掘し、本事業の活用を促した。

日程	内容
8月～9月	参画大学や大学発スタートアップへの周知活動
12/13	大学向け説明会
1月～2月	経営人材とシーズや大学発スタートアップとのマッチングフォロー

● 大学発スタートアップ情報発信

大学発スタートアップと事業会社のオープンイノベーション促進を目的として、株式会社UNIDGEと連携し、大学発スタートアップ(4社)の紹介記事の作成およびWebマガジン等による発信を実施。

実施日時	内 容
6月～7月	掲載スタートアップ(4社)の取材

9月	Webマガジン「Ambitions」への掲載 <掲載スタートアップ> ・オーシャンリペア株式会社 ・株式会社マリ ・株式会社B-Lab ・株式会社アイ・ブレインサイエンス
----	--

5. 産学連携シェアオフィスの運営

産学融合拠点のモデルとなる事業として、2022年4月～シェアオフィスの運営を開始している。

利用者	人数
(一社)ライフインテリジェンスコンソーシアム	2名
関西イノベーションイニシアティブ 上級エリアコーディネーター	4名
当法人の客員研究員(バイオチーム)	1名

【法人管理】公益法人としての適正な運営

理事会を4回、評議員会を2回開催し、公益法人として適法な運営を行った。

第56回理事会	2024/5/28	第1号議案 2023年度 事業報告書並びに決算報告書承認の件 第2号議案 第17回評議員会招集の件 報告事項 職務執行状況報告
第17回評議員会 (書面)	2024/6/26	第1号議案 2023年度 決算報告書承認の件 第2号議案 評議員1名選任の件 第3号議案 理事1名選任の件 報告事項 2023年度事業報告の件
第57回理事会 (書面)	2024/6/26	第1号議案 理事長選定の件 第2号議案 顧問1名選任の件 報告事項 2023年度事業報告等に係る定期提出書類の件
第58会理事会	2024/11/19	第1号議案 2024年度収支予算見直しの件 報告1「競争的研究費の運営及び管理並びに研究活動上の 不正行為の防止及び対応に関する規程」制定の件 報告2 職務執行状況報告
第59会理事会	2025/3/13	議案1 2025年度事業計画書、収支予算書、並びに資金調達 及び設備投資の見込みの承認の件 議案2 旅費支給規程改訂の件 議案3 2025年度役員賠償責任保険契約締結の件 議案4 第18回評議員会書面開催の件
第18回評議員会 (書面)	2025/3/31	議案1 理事1名選任の件

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

以 上